

【やりとりと判定の実例：B2△】

<ロールカード>

あなたは日本語の先生で、昼休みに日本人の同僚とおしゃべりをしています。あなたが働いている学校では、15年間同じ教科書を使っていますが、最近出版された新しい教科書が話題になっています。教科書を新しいものに変えた方がいいか、今までのものを使い続けた方がいいか、自分の意見をどちらかに決めて、理由を示しながら同僚と話してください。

T：テスター、S：受験者

発話例	判定の根拠
<p>S：<…略…>（ネット上で使える教材で）その教科書の目標は、えーと、日本語の、基本、何という、基本的な文法とか、文型だけでなく、コミュニケーションをよくできるように、えー学べる教科書みたいなんです。その本を使ってみようと思っていますが大丈夫かな。①</p> <p>T：突然の話だからちょっと私もよくわからないんだけど、だけど情報源、調べたのはインターネットなんですよ？インターネットの情報って信じてもいいのかな。A</p> <p>S：そうですね。でも、その情報は◆◆◆のサイトで見つかった。んー、その人たちは一年中、研究するばかり、と聞きました。ですから信じてます。②</p> <p>T：ああそうか。じゃあ、信じてよさそうかなあ。でも、私◆◆◆すごく好きな教科書だし、使い慣れているからあんまり変えたくないんだけど。B</p> <p>S：そうですね。そういう理由もあります、でも、その本を作った時、今の時代と比べていくつか、あ、あのう、変わった何か、場面とか、んー、えっと日常生活、すみません、日常生活にもインターネットが、あー、作って、えー、機能が、あとはあのう、携帯電話の使い方、携帯電話も、その時になかった。今、ほとんどの皆さんはその携帯電話で何でもできます。情報を、んー、探す時、えーと、携帯電話で間に合います。ですから、それを、えー、何と言う、言葉は忘れてしまいましたけれども、それを考えて、新しい教科書を作った、あー、何と言う、作った本みたいです。③<略></p>	<p>①教科書変更の提案</p> <p>②反論Aへの対応・根拠</p> <p>③反論Bへの対応だが根拠が不明確、主張が維持できない</p>

この例では、①で新しい教科書を使うことを提案し、テスターがAで「ネット情報だから信じにくい」と反論すると、提案の根拠（見つけたサイトは◆◆◆のもので、研究をよくしている機関だという旨）を述べています（②）。しかし、テスターの、今までの教材を変えたくないというBの反論に対しては、③で再び反論を試みっていますが、全体として何が言いたいのか伝わってきません。そのため、「教科書を変えたい」という提案を支える根拠にならず、主張が維持できていません。以上のことから△と判定します。